
急性期病態学

橋 爪 洋 教授

川 股 知 之 教授* 神 人 正 寿 教授*

中 尾 直 之 教授* 西 村 好 晴 教授*

原 勲 教授* 山 田 宏 教授*

2 年次通年・必修

2 単位・60 時間

【概要・目標】

身体の構造・機能、基礎病態学の知識をもとに、各種急性疾患の病因、症状、診断、治療について看護に必要な知識を学習する。急激に変化する緊急疾患、周手術期の患者の症状を理解し、その治療、看護への知識を習得する。実際の症例提示を通してより効果的に学ぶ（オムニバス方式）。

【授業内容のスケジュール】

- 1) ～ 4) 神経外科（中尾教授）：神経診断学、脳血管障害、脳腫瘍、頭部外傷・水頭症等
 - 8) ～ 11) 消化器外科（橋爪教授）：消化性潰瘍、イレウス、胆石症、胃癌・大腸癌・肝癌・膵癌等
 - 12) ～ 14) 麻酔科（川股教授）：麻酔に必要な生理学、麻酔薬と筋弛緩薬、麻酔法等
 - 15) ～ 18) 循環器・呼吸器・乳腺外科（西村教授）：先天性心疾患、弁疾患、不整脈、心臓腫瘍・外傷、虚血性心疾患、血管疾患、呼吸器疾患、乳腺疾患
 - 19) ～ 22) 皮膚科（神人教授）：皮膚疾患の基礎と代表的疾病（炎症、角化異常、感染、腫瘍等）
 - 23) ～ 26) 整形外科（山田教授・橋爪教授）：診断学・治療学総論、脊椎・脊髄疾患、脊椎・脊髄損傷、関節疾患、四肢骨折・外傷、骨軟部腫瘍、感染性疾患
疾患・外傷
 - 27) ～ 30) 泌尿器科（原教授）：症候と検査、悪性腫瘍、尿路性器感染症と尿路結石症、排尿障害
-

【評価】

筆記試験（90%）、出席状況（10%）

【教科書】

講義プリントなど

【推薦参考図書】

- 1) 北村聖編：臨床病態学 I 第 2 版 ニューヴェルヒロカワ 2013
 - 2) 馬場元毅：絵でみる脳と神経 第 4 版 医学書院 2018
 - 3) 後藤秀実監修：症状からみた消化器疾患の診断と治療 第 1 版 診断と治療社 2006
 - 4) 太城力良編：「新・麻酔看護マニュアル」メディカ出版 2003
 - 5) 高崎眞弓：「イラスト麻酔科」文光堂 2003
 - 6) 龍野勝彦：「心臓外科エキスパートナーシング」南江堂 2004
 - 7) 小柳仁著「心臓にいい話」新潮新書 2006
 - 8) 正岡昭監修，藤井義敬編：呼吸器外科学 南山堂 2009
 - 9) 坂元吾衛・野口昌邦監修：乳腺疾患の臨床 金原出版 2006
 - 10) 古川福実編著：皮膚科典型アトラス 560 日本医事新報社 2008
 - 11) 石川 治、古川福実、伊藤雅章編著：ナースの実践皮膚科学 中外医学社 2005
 - 12) 久保俊一ほか編：図解整形外科第 3 版 金芳堂 2017
 - 13) 松村譲児ほか監修：病気がみえる vol. 11 運動器・整形外科 MEDIC MEDIA 2017
 - 14) 栗田孝・八竹直監修，奥山明彦編：TEXT 泌尿器科学 第 3 版 南山堂 2005
 - 15) 西沢理：New 泌尿器科学 第 2 版 南江堂 2007
-